

# JICAにおける GCF案件形成と実施

2022年12月8日（木）

国際協力機構

地球環境部 気候変動対策室 尾崎想

## GCF資金の活用の背景

2022年度の業務運営に関する計画([JICA2022年度計画](#))や[JICAグローバルアジェンダ](#)(気候変動)において、ODA 案件との効果的な相乗効果を追求するため、GCF 等の外部資金の一層の活用が柱の一つ



- ・2018年5月GCFと**包括的認証取極(AMA)**を締結
- ・GCF理事会メンバーの日本理事のアドバイザーも担当

項目	ステータス
アクセス可能なGCF資金規模	極小(<10)・小(10~50)・中(50~250)・大(250<) <b>すべて可</b> 。(単位:百万米ドル)
資金ツール	贈与(grant)、融資(loop)、出資(equity)、保証(guarantee)。 <b>現在実施中の案件はいずれも贈与</b> 。
環境・社会リスクカテゴリー	<b>カテゴリーA</b> (※2)の事業も実施可能。 (※2:環境や社会に対し、広範囲に回復不可能で未曾有の深刻なリスクや悪影響を与える可能性を持つ事業)

GCF理事会メンバーである日本理事のアドバイザーも務める。

# GCF案件形成に係るJICAの当面の方針

- 日本政府の重点分野、①防災、②小島嶼開発途上国(SIDS)支援、③先進技術の活用を重視する。
- 当該国に対する我が国の開発協力戦略(国別開発協力方針)やJICAの事業展開計画との整合性を確保する。
- 案件形成に際し、可能な限り、ODA事業との連携・相乗効果の発現を図る。



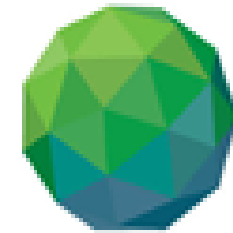
## ◆ 案件形成支援:

- ・モルディブ海岸保全、東ティモール天然資源管理案件がGCF理事会で承認済
- ・CN提出済み案件が6件

## ◆ 制度設計:

- ・環境社会配慮、調達、資金フロー整理、マニュアル策定等
- ・今後の民間案件形成に向けた調査を実施中

# GCF案件リスト



GREEN  
CLIMATE  
FUND

## 東ティモール

重点流域における  
森林減少抑制及び  
気候変動に対する  
地域レジリエンス強  
化のための住民主  
導型ランドスケープ  
管理プロジェクト

(緩和策)

## モルディブ

気候変動に強靱で  
安全な島づくり事業

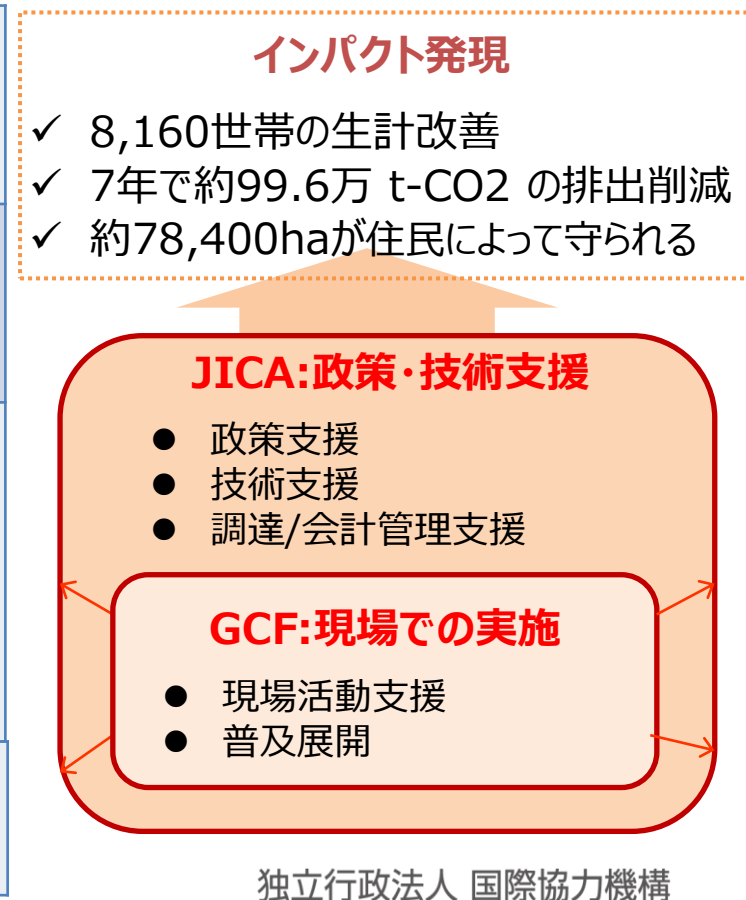
(適応策)

ラオス、ベトナム、  
モンゴル、南部ア  
フリカ、バヌアツ等  
(CN提出済み)

# 東ティモール案件概要①

- 案件名：重点流域における森林減少抑制及び気候変動に対する地域レジリエンス強化のための住民主導型ランドスケープ管理プロジェクト（英）Community-Based Landscape Management for Enhanced Resilience and Reduction of Deforestation in Critical Watersheds
- 対象地域：重点4流域（ラクロ・コモロ・タファラ・カラウルン）
- 期間：7年間(2022年から2029年)
- 実施機関：JICA 協力機関：農業水産省/森林・コーヒー・工芸作物総局

目的	村落レベルで低炭素／気候強靱性のある住民主導型の自然資源管理（CBNRM）メカニズムを導入し実施アクターの能力が強化されることで、住民の気候強靱性が強化され、森林減少抑制に伴う温室効果ガス排出削減に貢献する。		
成果	成果1：4流域における持続的な自然資源管理システム構築 成果2：持続的な自然資源管理による生計手段に係る能力強化 成果3：CBNRMロードマップが普及展開するための環境が整備される 成果4：成果の適切かつ効果的な実施・評価		
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プロジェクト運営委員会</li> <li>● 行政人材の配置</li> <li>● オフィス・資機材</li> </ul>	<b>主に政策支援・技術支援・全体管理</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象流域外展開に係る政策支援</li> <li>● 普及・拡大のための技術支援</li> <li>● GCF事業全体管理</li> <li>● 資金計画の実施支援</li> </ul>	<b>主に現場でのインパクト発現</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● CBNRMの村落レベルでの実施</li> <li>● コミュニティ林業</li> <li>● 生計向上プログラム</li> <li>● 普及員人材育成</li> </ul>
	東ティモール政府 197万ドル (約2.2億円)	JICA 約3.6億円	GCF（受託） 9.98万ドル (約11億円)



# 東ティモール案件概要②

## Community-Based Natural Resource Management メカニズム

### CBNRMメカニズム

参加型土地利用計画  
(PLUP)

生計向上の  
マイクロプログラム  
(MP)

2.5年間にわたる丁寧な  
住民参加型プロセス

伝統的な社会規範  
を活かした  
自然資源管理の  
村落規則

「住民参加型による自然資源  
管理手法(CBNRM)」

GCF事業の実施により、  
**4流域74村落にスケールアップ**  
技プロの成果拡大！



#### 参加型土地利用計画(PLUP)

- ①住民参加型土地利用計画作り
- ②コミュニティ型の気候変動脆弱性調査をした上で、適切なマイクロプログラムを参加型で決める。

#### マイクロプログラム(MP)

- ・気候変動対応型農業、傾斜地農業、堆肥づくり等
- ・農業指導には、基本的に住民が身近にとれるものを活用

- ✓ 8,160世帯の生計改善
- ✓ 7年で約99.6万 t-CO2 の排出削減
- ✓ 約78,400haが住民によって守られる

# モルディブGCF案件概要①

## 「気候変動に強靱で安全な島づくりプロジェクト」

- 2021年7月 第29回GCF理事会にて承認
  - 実施期間：2023年4月～2029年9月（GCF受託業務部分、予定）
  - GCF資金申請額：25.1百万米ドル（約26.5億円）  
（案件総額：約66.0百万米ドル（約69.7億円））
  - 適応案件／資金形態：Grant・中規模（総事業費5000万～2.5億USD）
- 
- 同国は低標高・狭隘な土地であり居住島の海岸浸食が顕在化。気候変動に伴う海面上昇・波力増大によりさらに海岸浸食が加速していくことが見込まれる。
  - 本事業は、気候変動の影響を考慮した海岸保全・防護対策を促進するための体制構築に取り組み、気候変動に対する国土の強靱化および安全性向上を目指すもの。



# モルディブGCF案件概要②

モルディブで気候変動影響を踏まえた海岸保全対策が実施され、気候変動に対する国土の強靭性が高まる。

## ①総合沿岸域管理(ICZM)計画の策定

(JICAコファイナンス事業)

- ・ICZMの基本方針の策定
- ・対象島におけるICZM計画の策定

## ③災害警報・情報体制の整備

(JICAコファイナンス事業)

- ・地デジ放送網の整備
- ・緊急警報伝達システム整備

## ②海岸保全・防護対策の実施

(GCF資金・「モ」政府コファイナンス・JICAコファイナンス)

- ・対象島における対策の実施
- ・維持管理体制の構築

## ④気候変動に係る基礎データ取得・共有

(JICAコファイナンス事業)

- ・波浪、海岸・リーフ、土地利用モニタリング体制の整備



ご清聴ありがとうございました。

国際協力機構

地球環境部 気候変動対策室